

青海工場は今年12月で操業100周年を迎えました



デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）の青海工場（新潟県糸魚川市）は今年12月で操業100周年を迎えました。

青海工場は隣接する黒姫山の石灰石や自家発電電力などの資源を有効に活かし、1921年（大正10年）にカーバイドの製造から操業を開始しました。独自のカーバイドチェーンにより石灰窒素肥料、セメント・特殊混和材などの無機化学品から特殊合成ゴム、高分子ヒアルロン酸製剤などの有機化学品に至るまで、幅広い製品を生産する当社の主力工場であり続けています。また、2018年には工場部門間の一体的・機能的な運営や地域との相互交流の中核（ハブ）として新総合事務所「Omi Innovation Hub（オミ イノベーション ハブ）」を竣工するなど、社員の働きやすい環境の整備にも注力しています。

青海工場では操業と同時に自家水力発電所も稼働しており、今年1月には新たな自家水力発電所である新青海川発電所の送電を開始しました。現在は合計16ヶ所、約17万世帯の電力分に相当する最大出力12.6万kW（国内民間製造業では第2位となる規模）の発電能力を保有しており、来年4月には新姫川第六発電所の送電開始を予定するなど、クリーンエネルギーの利用拡大を進めています。さらに、カーボンニュートラル実現に向けたCCUS(*)の開発・実装展開の技術開発や、CO₂吸収型コンクリート「CO₂-SUICOM」の普及に向けて、キーマテリアルとなる特殊混和材「LEAF®」の研究開発を進めるなどのスペシャリティー化を推進しております。

当社は今後も青海工場を重要拠点と位置づけ、地域の皆様とともに青海工場の持続的な成長を目指してまいります。SDGsを羅針盤に、誰よりも上手にできる仕事で全ての人がより良く生きる世界をつくる、社会にとってかけがえのない企業を目指してまいります。

1. 青海工場 概要

- ・所在地：新潟県糸魚川市大字青海 2209 番地
- ・主要製品：クロロプレングム、ポパール、カーバイド、石灰窒素肥料、アルミナ繊維、セメント、特殊混和材、高分子ヒアルロン酸製剤、超高純度モノシランガス など
- ・従業員数：約 1,000 名

2. 青海工場の主要年表

西暦	主な出来事
1921年12月	青海工場開設、カーバイド製造開始。小滝川水力発電所完成
1922年	石灰窒素肥料 製造開始
1938年	大網水力発電所 完成
1954年	「デンカセメント」製造開始
1962年	特殊エラストマー「デンカクロロpren」製造開始
1963年	「デンカポパール」製造開始
1967年	特殊混和材「デンカ CSA」製造開始
1982年	アルミナ繊維「デンカアルセン」製造開始
1983年	セメント専用船「黒姫丸」「青海丸」完成就航 セメント排熱発電設備完成
1989年	「モノシランガス」 製造開始
1996年	高分子ヒアルロン酸製剤 製造開始
2002年	バイオマス発電設備 完成。国内最大級の 218t 大型ダンプカーを導入
2015年	小滝川水力発電所 高効率化リニューアル
2018年	新総合事務所 “Omi Innovation Hub” 竣工
2019年	新特殊エラストマー “Evolmer” 製造開始
2020年4月	「アビガン®錠」原料となる「マロン酸ジエチル」生産再開を決定
2021年1月	新青海川水力発電所 送電開始
2021年7月	カーボンニュートラル実現に向け「青海サステナビリティ推進部」を設置
2022年4月(予定)	新姫川第六水力発電所 送電開始

(*) CCUS (Carbon Dioxide Capture, Utilization and Storage/二酸化炭素回収・有効利用・貯留) プラントで発生する排ガスに含まれる CO₂ を他の成分と分離して回収し、大気への放出を防ぐ技術。回収した CO₂ は、地中や海底に貯留する他、化学品や燃料を作るための原料として再利用する等の検討が官学共同で進められています。当社も産業技術総合研究所と共同で開発に取り組んでいます。

※「アビガン」は富士フイルム富山化学株式会社の登録商標です。

【報道関係者からの問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511